月刊(No44)　平成16年8月1日第惨種幽貧物独自認可

月刊びゃっきーープレス

byacky press

2007
5月号
毎月初回ライブ日発行

無料配布
↑あたりまえ

発　　行　(謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配　　布　びゃっきーご本人かライブハウスの人

RAMBLING Satellite
役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!
アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

月刊化へ

これ以上誤魔化せず

2004年8月より「ライブ毎刊」として親しまれてきたびゃっきーープレスが今回より「月刊」という形をとることになった。ちょうど一年ぐらい前からライブのペースがかなり上がったため、ライブ毎に刊行するのが厳しく、この号より「月刊」を名乗ることにした。これからもびゃっきーおよびびゃっきーープレスをよろしくお願いします。

びゃっきーが弾き語りを開始したのと同時に刊行したびゃっきーープレスも今回で44号。これもひとえにみなさまのおかげ。ありがとうございます。

そのびゃっきーープレスが、今号から月刊になる。今までは ライブ毎刊として発行してきたが、ここ一年ほどライブ回数が急増したため、事実上ライブ毎刊という設定にムリが出てきた。最初は月一か二月に一回ぐらいの予定だったんだも

記念すべき第１号

事実上の刊行ペース崩壊

の。それが月3～4のペースになっちゃねぇ。それもこれもみなさんのおかげ。ありがとうございます。

合併号を繰り返して乗り切ってきたが、そんなわけで合併号が通常になっている。合併号じゃない号を探すと、昨年の7月9日号までさかのぼる。いくら着目されていないからといえ、あまりに名称と実情が違いすぎる。これでは真実が売りのびゃっきーープレスの名がすたる。ということで気合を入れて、ライブ毎に刊行する！　ことはせずに名称を月刊びゃっきーープレスに変更することとした。

思えば44号という4続きのこの号で、月刊化するというのはなんという偶然だろうか。今月は5月なので、5ひく4は1である。なんとキリのいい数字だろうか。神も祝福しているとしか思えない。オレも気が楽になるし、いいことづくめである。

思えば44号も飽きもせず作ってきたものである。一回に何十枚ものプレスを印刷して配るので、その紙の消費量はスゴイものがある。しかも先ほど触れた通り、この一年は合併号の連続で、1号につき、数回使い回されているので、44に単純に枚数をかけただけではなく、それを数倍しなくてはなるまい。びゃっきーープレスのおかげでどれほどの森林が伐採されたことか。スーパーでエコバッグを購入し、レジ袋削減に協力していい気になってエコびゃっきーとか言っていたが、びゃっきーープレスを廃刊した方がよっぽどエコロジーである。神をも恐れぬ紙使いの荒さ！　うまい！　そうか？

思えば44号もこんなくだらないものを作成してきて、よく怒り出したお客さんがいなかったものである。よっぽど読まれてないのかしらん。読まれてないなら何書いても大丈夫かしらん。やーい！　やーい！　お前らのバカー！　いや、失礼。ここまで読んでくれたあなたには感謝しているぞ。しかし世の中的にはバカかもしれんぞ。びゃっきーープレスは隠れて読んで、「読んだ？」と聞かれたら、「いや。読むわけがないじゃん！」と答えた方がよいのだろうなぁ、きっと。いや、その前に「読んだ？」なんて聞かれるわけないよな。なんか、むなしくなってきた。なんでこんな思いして、こんなもん発行してるかと言えば、ここまで読んだあなたのため！

（びゃっきー）

■びゃっきーープレスが過去に配布されたライブハウスのあるエリア